

令和5年度 予算 のお知らせ

令和5年2月15日に開催された組合会において、令和5年度の予算が可決・承認されましたので、以下、その概要についてご説明いたします。

令和5年度一般勘定予算の概要

- ① 被保険者数は前期比2、088人減の57、415人、平均標準報酬月額額は同965円増の45万5、013円、総標準賞与額は同2億37百万円増の946億84百万円を見込みました。
- ② 一般保険料収入は、被保険者数の減少を主因に前期比7億46百万円減の309億65百万円を計上しました。経常収入全体では、同7億46百万円減の310億16百万円としました。
- ③ 一方、経常支出において、保険給付費は前期同様、新型コロナウイルスの影響を除外するため令和元年度以前の過去10年間の増加率をベースに、5年度の診療報酬改定、出産育児一時金増額等の影響を織り込んで策定しました。1人当たりでは前期比6千円増を見込んだ一方、被保険者数の減少により、総額では同3億48百万円減の189億69百万円を計上しました。また、納付金（高齢者医療制度支援のための負担金）は、増加基調が続いていることに加え、コロナ禍の受診控えによって生じた前期の減少の反動を見込み、同8億53百万円増の116億34百万円としました。

- 疾病予防事業などに充てる保健事業費は、健診受診率等が新型コロナウイルス以前の水準に回復しつつあること、また5年度は「第3期特定健診・特定保健指導」および「第2期データヘルス計画」の最終年度に当たることから、さらなる利用者拡大を見込み、前期比2億49百万円増の23億13百万円を計上しました。経常支出全体では、同7億96百万円増の333億12百万円としました。
- ④ この結果、経常収支差引額は前期比15億42百万円減少し、22億96百万円の赤字となる見込みです。
 - ⑤ 最終的に、経常収支と経常外収支の合計額である18億95百万円の不足は、別途積立金から40億円を繰り入れて補てんすることとし、残りの21億5百万円は想定外の支出に備える予備費として計上しています。なお、予備費に残余が生じた場合は、決算残金処理により別途積立金へ追加積立いたします。
 - ⑥ 以上のとおり、令和5年度は保険料収入の減少や納付金の増加によって、経常収支で22億96百万円の赤字予算となりました。今後は、団塊の世代のすべてが75歳以上となり後期高齢者へ移行することで社会保障費が増大する「2025年問題」も目前に迫り、健保財政は一層厳しさを増すものとみられています。当健保組合におきましては、加入者の皆様の健康寿命の延伸、健保財政の健全性維持に向け、健康管理アプリや

ポイントインセンティブ事業の導入など、ICTを活用した疾病予防事業を推進してまいります。皆様におかれましては、各種保健事業や健康管理ツールをご活用いただきますとともに、医療費節減にもご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

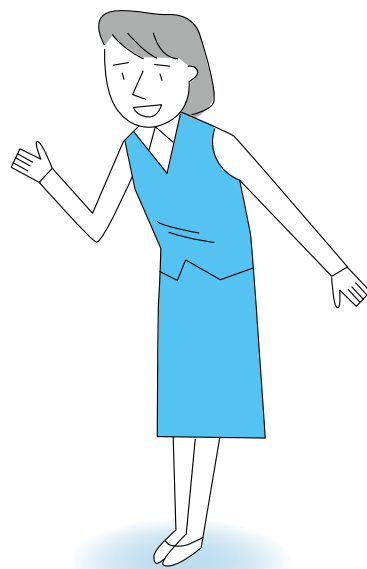
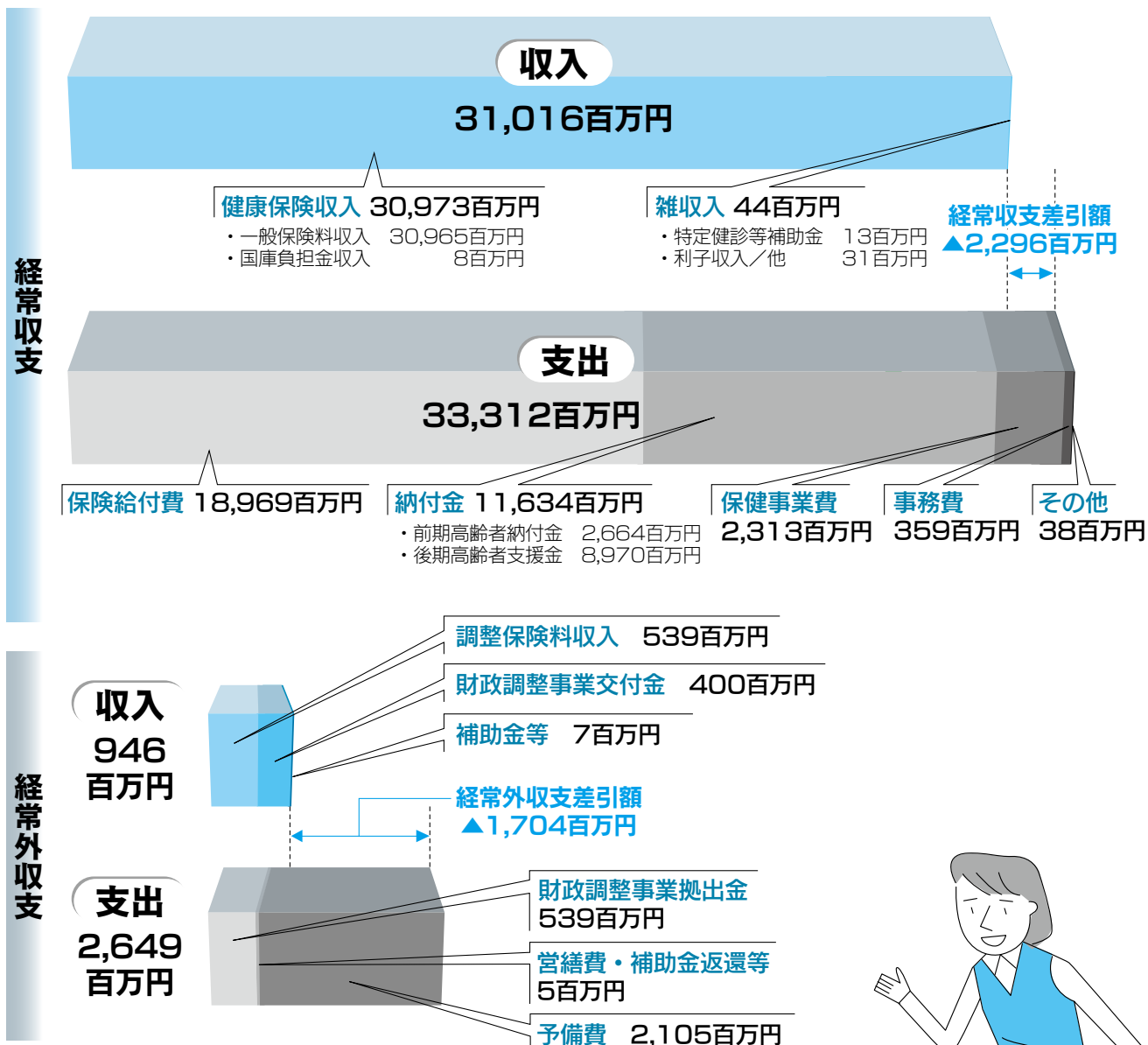
令和5年度介護勘定予算の概要

厚生労働省から毎年示達される介護納付金は、第2号被保険者数の減少や過年度精算金が発生したことから、前期比55百万円減の39億8百万円となりました。この納付額に必要な介護保険料率を試算した結果、令和5年度は前年度と同率の1.6%としました。

医療費節減の
ご協力をお願いいたします

→7ページを
ご覧ください

一般勘定 令和5年度収入支出予算



介護勘定 令和5年度収入支出予算

